

## 北大病院外科系診療科横断的研修コース（外科オールラウンド研修）

北海道大学病院では、希望する外科系診療領域(食道・胃外科,大腸・肛門外科,肝臓外科,胆道・膵臓外科,消化器移植外科,小児外科,循環器外科,呼吸器外科,乳腺外科)を選択し,1年間で効率よくローテーションする外科系診療科横断的研修コース(オールラウンド研修)を設置しております。

これらの診療領域を担当する診療科に所属(いわゆる「入局」)をしなくとも研修できる非入局型であることが特徴です。

### 特徴

このコースは次の場合に適しています。

#### 1. 外科系診療科を志望するが所属が決められない場合

消化器外科,心臓血管外科,呼吸器外科,小児外科,乳腺外科などの関連専門外科(サブスペシアルティ)の専門医資格を取得するには,まず外科専門医であることが条件となります。外科専門医を取得するには,幅広い領域の症例数の経験実績が条件となり,そのために時間を要します。

外科系診療科を希望しているがサブスペシアルティを決めかねている場合本研修により各領域で豊富な症例を経験することができ,外科専門医を取得する準備をすすめることができます。

#### 2. 外科系診療科以外の診療科への入局を志望する場合

外科系診療科以外の診療科(内科,整形外科,救急,麻酔科など)への入局を志望する研修医がこのコースを選択することによって,関連する外科の知識や経験を修得することで,より専門性を高めることができます。

#### 3. 初期臨床研修で十分な外科研修ができなかった場合

初期臨床研修は,プライマリーケアを中心とする幅広い知識や経験の修得を目的としていますが,外科系診療科は新カリキュラムでは必修ではなく選択必修となったことから,ローテーションの機会が減少しました。

初期臨床研修で外科系診療科を選択しなかったために外科領域の知識・技術に自信を持ってない研修医が,このコースを利用して外科研修を行うことができます。

## 選択領域と担当診療科

選択できる診療領域は、食道・胃外科、大腸・肛門外科、肝臓外科、胆道・膵臓外科、消化器移植外科、小児外科、循環器外科、呼吸器外科、乳腺外科です。ただし、複数の本院診療科を選択する必要があります。各診療領域は、次の診療科が担当します。

選択できる診療領域	担当する診療科(講座)	連絡先担当医師
食道・胃外科	消化器外科Ⅱ	土川 貴裕 助教
大腸・肛門外科	消化器外科Ⅰ	本間 重紀 助教
肝臓外科	消化器外科Ⅰ	本間 重紀 助教
胆道・膵臓外科	消化器外科Ⅱ	土川 貴裕 助教
消化器移植外科	消化器外科Ⅰ	本間 重紀 助教
小児外科	消化器外科Ⅰ	本間 重紀 助教
循環器外科	循環器・呼吸器外科	若狭 哲 講師
呼吸器外科	循環器・呼吸器外科	加賀 基知三 診療教授(代表)
乳腺外科	乳腺外科	細田 充主 講師

★外科専門医取得に必要な下記の領域の症例を修得できます。

外科専門医必要経験領域	最低 症例数	領域	消化器外科Ⅰ	消化器外科Ⅱ	循環器	呼吸器	乳腺・ 内分泌
(1)消化管および腹部内蔵	50 例	食道・胃	34	40			
		大腸・肛門	102	31			
		肝臓	117	15			
		胆道・膵臓	23	120			
		消化器移植	10				
(2)乳腺	10 例					100	
(3)呼吸器	10 例					163	
(4)心臓・大血管	10 例				255		
(5)末梢血管(頭蓋内除く)	10 例			2.4	50		
(6)頭蓋部・体表・内分泌	10 例			10			
(7)小児外科	10 例		198				
(8)外傷	10 例		3	2.4			
上記(1)?(8)における内視手術	10 例		64	83		138	

各領域における 1 年間の手術件数(過去 3 年間の平均で示しています)。

## 対象と研修期間

卒後 2～4 年目のうちの 1 年間において、2 診療領域以上を、それぞれ 2～10 ヶ月(最大)をひとつの単位としてローテーションします。

### 【対象】

- 外科系診療科に所属しないが当該診療科での研修を志望する後期研修医
- 外科系診療科に所属する後期研修医
- 初期臨床研修医

## 研修目標

- 各疾患の外科治療の適応を判断し、適切な治療法を選択できること。
- 外科治療における基本的処置、手術が実施できること。適切な術後管理ができること。

## 所属および身分

### 【所属】

- 卒後 3～4 年目のうち、各診療科に所属しない医師は北海道大学病院医員(後期研修医)として卒後臨床研修センターに所属します。
- 卒後 3～4 年目のうち、各診療科に所属する医師は各診療科で採用されます。
- 卒後 2 年目は、初期医師臨床研修プログラム(外科系診療科重点研修)の中で卒後臨床研修センターと外科系診療科が連携して本研修を実施します。

**【身分(卒後 3～4 年目の場合)】** (卒後 2 年目は初期研修医の身分となります)

職名:医員又は医員(後期研修医)

勤務日数:週 4 日

勤務時間:8:30～17:00(休憩時間 12:15～13:00)

給与:本学就業規則の定めるところにより支給

(時間給単価 1,516 円,通勤手当,超過勤務手当,休日給,宿日直手当)

社会保険等:有(厚生年金,健康保険,労災保険,雇用保険)

休暇:年次有給休暇,特別休暇(有給・無給)有り(本病院規定による)

兼業:可(研修先診療科と相談のうえ従事)

## 取得できる専門医・認定医

本コース終了のみで取得できる専門医・認定医はありませんが、外科専門医申請に必要な症例を幅広く一定程度経験することが可能です。

## コーディネーターからのメッセージ

ある意味良いことではあるのですが、特に大学病院では外科系診療内容がより専門化・細分化される傾向にあって、外科研修の初期の段階で一つの診療科で広い範囲を研修することがやりにくくなっています。

そこで設定したのが、サブスペシャリティ専門医取得のため必須である外科専門医を要領よく取得できるよう、複数の診療科をまたぐこの横断的研修コースです。外科系診療科をめざしているみなさんは、なるべく早い時期に所属科を決定することが望ましいと考えますが、一生(とは限りませんが、少なくとも長期間)を左右することを決め難い、というのも事実です。

また、内科医や外科診療科以外をめざすみなさんは、自分の専門以外の領域を知っておくことは将来の専門性の向上に必ずや役立つものとおすすめします。また、それができるのは専門科に入る前だけです。

北海道大学が誇る外科系診療科全体によるサポートが可能なこのコースをどうぞご利用ください。

松居 喜郎